

CDP気候変動2021 回答に向けて（詳細版）

C5 排出量算定
C6 排出量データ

2021ウェビナー
CDP事務局

本ウェビナーについて



- ▼ CDP回答ガイダンス、スコアリング基準、スコアリングイントロダクション等の内容に沿って説明しています。これらの情報は、ウェブサイトに掲載しています。
- ▼ スコアリングの詳細についてもご紹介していますが、スコアリングの基本については、スコアリングイントロダクションの文書やウェビナーをまずご覧ください。
- ▼ 本ウェビナーの内容、CDPウェブサイトに記載している日本語版の内容は、CDP日本事務局が、日本企業の皆様向けに日本語での説明を行うために作成したものです。最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、正しくは英語版をご参照ください。

CDP気候変動質問書および回答ガイダンス2021 ([リンク](#))

CDP気候変動質問書スコアリング基準2021 ([リンク](#))

※右上の「言語/language」ボタンより言語を変更いただけます。

回答の際の注意点



- ▼ スコアリングは、回答欄に記載された内容にのみ基づいて実施されます。
⇒外部URLの参照、資料の添付（一部質問を除く）、他の回答欄を参照しなければならない回答等はスコアリングには反映されません。

NG回答例

- 「当社のリスク管理活動の詳細については、ウェブサイト（<http://www ~~~>）をご覧ください」
- 「詳細は質問〇〇への回答内容を参照のこと」

- ▼ 無回答欄が多い場合はスコアが低くなってしまいます。
 - **Please explain（説明してください）**や**Description（～の説明）**は必ず記入してください。
 - 数値記入欄において、空欄とゼロを回答することは意味が異なります。不明な場合は空欄のままで、把握していてゼロの場合はゼロと記入してください。
- ▼ 下位レベルで一定のスコアを満たしていないと、上位レベルのスコアが0になる質問があります。
- ▼ 回答は提出時の御社の状況ではなく、C0.2の報告年の時点でどうであったかでご記載ください。自社にとって重要な意思決定や取り組み事例について、報告年よりも以前のことであっても、報告年の戦略や方針に関係のあるものであればご記載いただけます。その際、その報告年以前の取組の結果、報告年時点ではどのような状況になっているのかの進捗もご記載いただくことでよりよい情報開示となります。

回答の際の注意点

(文章記述欄：自社固有／ケーススタディ／事例)



▼ 自社固有の (Company-specific) 回答が求められる場合

同じ地域で活動する企業、同じセクターの企業と区別できるような、環境問題の自社にとっての具体的影響、定量的なデータ、自社の具体的な（いつ、どこで、どれくらいの規模で）取り組み、固有の製品／サービス等について、**自社のみに当てはまる内容**を記述してください。自社固有の説明は、一般論として回答しているのではなく、回答企業が環境関連の問題を自社のビジネスの文脈の中で十分に検討していることや、実際にアクションを起こしていることを示すために有用です。

▼ ケーススタディ (Case study) の記載

回答を裏付けるための具体的なケーススタディを提供することでポイントが与えられる質問があります。ケーススタディを記述する際には、以下に挙げる「**Situation-Task-Action-Result (STAR)**」アプローチに沿った記載を含めてください。

- 1) 状況 (**Situation**) : 現状や背景はどのようなものか
- 2) 課題 (**Task**) : 何をしなければならないのか／解決すべき課題は何か
- 3) 行動 (**Action**) : 実施した一連の行動はどのようなものか
- 4) 結果 (**Result**) : 行動した結果、最終的にどのような成果が得られたか

ケーススタディの中には、**できるだけ多くの自社に固有の (Company-specific) 情報、具体的な時間(いつ)と場所の情報(どこで)**を含めてください。

▼ 事例 (Example) の記載

上記の**STAR**アプローチに沿った記述は必要ありません。ケーススタディよりも簡潔に記載でき、いくつか自社固有の情報が含まれていれば望ましいと言えます。

セクター別質問書



- ▼ 気候変動、水セキュリティ、森林減少といった環境問題の影響が大きいセクターに該当する企業にはセクター別の質問が設定されています。セクター別の質問は、質問番号に各セクターを示すアルファベットが付記されています。
- ▼ セクター別のスコアリング基準が設定されており、セクターの特徴に沿ったスコアリングが実施されます。
- ▼ どのセクター別質問に該当するかは、企業がどのセクター（**CDP**のセクター分類に基づく）に属しているかによって決まります。（該当するセクター別質問は、各プログラム共通です。）
- ▼ セクター別質問に該当しない場合、[一般]セクター質問書に回答いただきます。

農業	エネルギー	金融	素材	輸送
<ul style="list-style-type: none">農産品(AC)食料・飲料・タバコ(FB)製紙・林業(PF)	<ul style="list-style-type: none">石炭(CO)電力(EU)石油・ガス(OG)	<ul style="list-style-type: none">金融サービス(FS)	<ul style="list-style-type: none">セメント(CE)資本財(CG)化学(CH)建設(CN)金属・鉱業(MM)不動産(RE)鉄鋼(ST)	<ul style="list-style-type: none">輸送サービス(TS)輸送機器製造(TO)

注：本ウェビナーではセクター別質問の詳細については割愛しています。

ウェブサイト上の回答ガイダンスやスコアリング基準のページからセクター固有の情報をご確認ください。

C5 排出量算定方法／Emissions methodology

C5.1 基準年と基準年の排出量（スコープ1および2）を記入します。



C5.2 活動データの収集や排出量の計算に使用した基準、プロトコル、または方法論の名前を選択します。

C5.2で[その他]



C5.2a

活動データの収集や排出量の計算に使用した基準、プロトコル、または方法論の詳細を記入します。



C5.2で[その他]以外



モジュール終了



C5.1 基準年と基準年の排出量（スコープ1および2）を記入します。

Scope	Base year start	Base year end	Base year emissions (metric tons CO ₂ e)	Comment
Scope 1	Use the calendar button or enter dates manually in the format DD/MM/YYYY	Use the calendar button or enter dates manually in the format DD/MM/YYYY	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Text field [maximum 2,400 characters]
Scope 2 (location-based)				
Scope 2 (market-based)				

スコープ1排出量は必ず、
スコープ2排出量は、ロケーション基準またはマーケット基準、最低どちらか一つは必要です。

- 基準年を設定し、その当時の排出量を測定/報告することは、現在の排出量との比較で企業の温室効果ガス排出に関する傾向を明らかにするという観点で、非常に重要となります。
- 現在の排出量と比較できる、過去の排出量を基準年排出量としてください。
 ↳ バウンダリが同じ
 ↳ 計算方法、集計方法が同じ
- 必ずしもC4.1で回答した排出削減目標の基準年と一致している必要はありません。信頼できるScope 1と2データが整っており、現在との比較性がある最も古い年を基準年とすることが推奨されております。



C5.1 基準年と基準年の排出量（スコープ1および2）を記入します。

基準年と報告年の排出量の比較可能性を保つために、下記のケースにより重大な排出量の変化がある場合、基準年の排出量の再計算が必要になる場合があります。

- ▼ 組織の構造的な変更（事業の買収や売却、活動のアウトソーシングなど）
- ▼ より正確な算定方法の確立による算定方法の変更（排出係数の変更など）
- ▼ 基準年の排出データに関する著しい誤りの修正

実際に再計算を必要とするのか否かは、企業が「重大な排出量の変化」の閾値（Significant threshold）をどのように定義しているのかによります。詳細についてはGHG protocol Corporate Standardをご参照ください。（[リンク](#)）

基準年の排出量を再計算された場合には、その旨をこちらの設問のコメント欄にご記載ください。

Scope	Base year start	Base year end	Base year emissions (metric tons CO ₂ e)	Comment
Scope 1	Use the calendar button or enter dates manually in the format DD/MM/YYYY	Use the calendar button or enter dates manually in the format DD/MM/YYYY	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Text field [maximum 2,400 characters]
Scope 2 (location-based)				
Scope 2 (market-based)				

C5.2 活動データの収集や排出量の計算に使用した基準、プロトコル、または方法論の名前を選択します。

【主な方法論】

- Act on the Rational Use of Energy → 省エネ法
 - ISO 14064-1
 - Japan Ministry of the Environment, Law Concerning the Promotion of the Measures to Cope with Global Warming, Superseded by Revision of the Act on Promotion of Global Warming Countermeasures (2005 Amendment) → 温対法
 - The Greenhouse Gas Protocol: A Corporate Accounting and Reporting Standard (Revised Edition)
 - The Greenhouse Gas Protocol Agricultural Guidance: Interpreting the Corporate Accounting and Reporting Standard for the Agricultural Sector
 - The Greenhouse Gas Protocol: Scope 2 Guidance
 - The Tokyo Cap-and Trade Program → 東京都条例
 - Other, please specify
- } GHGプロトコル

→ こちらを選択するとC5.2aの回答欄が表示され、具体的な方法論について回答いただきます。

C5 スコアリング基準

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
5.1	[スコープ1] 1行目で、開始日、終了日、排出量を回答 – 1点 [スコープ2] 2行目または3行目で、開始日、終了日、排出量を回答 – 1点		2		0	0		0	0		0	0
5.2	いずれかの選択肢を選択している		1		0	0		0	0		0	0

C5の情報開示スコアが満点でない場合、C6.1、6.3に得点が付与されません。

C6 排出量データ／Emissions data

C6.1 御社のスコープ1全世界総排出量はCO₂換算で何トンでしたか。



C6.2 スコープ2排出量を報告するための御社のアプローチを説明してください。



C6.3 御社のスコープ2全世界総排出量はCO₂換算で何トンでしたか。



C6.4 スコープ1とスコープ2報告バウンダリ(境界)内で、開示に含まれない排出源(例えば、特定の温室効果ガス、活動、地理的場所など)はありますか？

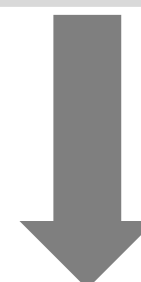
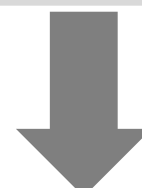
C6.4で[はい]



C6.4a 報告バウンダリ(境界)内であるが、開示に含まれないスコープ1および2排出量の発生源の詳細を記入します。



C6.5 御社のスコープ3全世界総排出量について、除外項目の開示とともに説明してください。



C6 排出量データ／Emissions data

C6.7 生物起源炭素からの二酸化炭素排出はありますか。

C6.7で[はい]

C6.7a 御社に関連する生物起源炭素からのCO₂排出量を回答してください。

C6.10 報告年における、売上高あたりのグローバルでのスコープ1、2総排出量を回答してください。加えて、御社の操業について、何らかの適当な原単位があれば、回答してください。

モジュール終了



C6.1 御社のスコープ1全世界総排出量はCO₂換算で何トンでしたか。

Year	Gross global Scope 1 emissions (metric tons CO ₂ e)	Comment
Reporting year	Numerical field [enter a range of 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Text field [maximum 2,400 characters]

- C0.5で回答したバウンダリ全体の排出量を回答してください。
- もし、バウンダリの中で回答できない排出量がある場合、その範囲についてC6.4で回答します。
- ここで回答いただくデータは、オフセットなどの影響を考慮しない、排出量総量です。

【複数年の排出量を回答する場合】（C0.2で複数年回答することを設定）

- 報告年から遡って順に回答してください。
- 過去の排出量について、いつのデータのもののか、日付（開始、終了）を記載してください。

年	排出量	開始日	終了日	Comment
Reporting year	Numerical field [enter a range of 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	[This cell is not seen in ORS]	[This cell is not seen in ORS]	Text field [maximum 2,400 characters]
Past year 1 [Only 'appears' if 1 year or 2 years or 3 years is selected in column 4 of C0.2]	Numerical field [enter a range of 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	From: [DD/MM/YYYY]	To: [DD/MM/YYYY]	Text field [maximum 2,400 characters]
Past year 2 [Only 'appears' if 2 years or 3 years is selected in column 4 of C0.2]	Numerical field [enter a range of 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	From: [DD/MM/YYYY]	To: [DD/MM/YYYY]	Text field [maximum 2,400 characters]
Past year 3 [Only 'appears' if 3 years is selected in column 4 of C0.2]	Numerical field [enter a range of 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	From: [DD/MM/YYYY]	To: [DD/MM/YYYY]	Text field [maximum 2,400 characters]

スコープ1排出量の算定

Scope 1は企業が自ら所有または管理している施設や活動からの直接的な温室効果ガス排出を指し、以下が主な排出源となります。

- ▼ エネルギー生成を目的とした燃料の使用（例：発電や熱/蒸気の生成）
- ▼ 特定の工業プロセス（例：セメントの製造や廃棄物処理）
- ▼ 輸送を目的とした燃料の使用（例：車両）
- ▼ 温室効果ガスの漏出（例：機器の接続部や密閉部からの漏出）

Scope 1の算定にあたり以下にご注意ください。

- ▼ 自ら所有や管理していない場所からの排出はScope 1に含まれません。
- ▼ バイオマスの燃焼によるN₂O およびCH₄排出は**Scope1**に含めますが、CO₂排出はScope 1には含めず、別項目としてご報告いただきます（C6.7、C6.7a参照）
- ▼ 算定にあたりオフセットした分を差し引くことはできません。オフセットを考慮していない排出量の総量をご回答ください。
- ▼ CO₂以外の温室効果ガス（CH₄, N₂O, HFCs, PFCs, SF₆, NF₃）も算定の対象となります。これらのガスの排出については、地球温暖化係数（GWP）を使用しCO₂に換算してください。

C6.2 スコープ2排出量を報告するための御社のアプローチを説明してください。

Scope 2, location-based	Scope 2, market-based	Comment
<p>Select from:</p> <ul style="list-style-type: none"> We are reporting a Scope 2, location-based figure We are not reporting a Scope 2, location-based figure 	<p>Select from:</p> <ul style="list-style-type: none"> We are reporting a Scope 2, market-based figure We have no operations where we are able to access electricity supplier emission factors or residual emission factors, and are unable to report a Scope 2, market-based figure We have operations where we are able to access electricity supplier emission factors or residual emissions factors, but are unable to report a Scope 2, market-based figure 	<p>Text field [maximum 2,400 characters]</p>

Aレベル

ロケーション基準、マーケット基準、**両方とも回答してください。**

GHGプロトコル スコープ2ガイダンスは2015年1月に発表されました。ガイダンスの要件の一部として、企業は2つの方法(ロケーション基準の方法とマーケット基準の方法)を用いてスコープ2排出量を把握することを求めています。

スコープ2排出量の算定



ロケーション基準手法

同じ系統または市場において系統平均を用いて、電力等二次エネルギーからの排出を算定する方法。系統平均を使うため、企業が再エネメニュー等を契約し低炭素な電気を調達していても、その効果は反映されません。

日本の排出係数

2019年度: 0.000445 t-CO₂/kWh

2018年度: 0.000462 t-CO₂/kWh

2017年度: 0.000496 t-CO₂/kWh

海外の排出係数

IEA各国平均係数([リンク](#))

IEA外の国（一部）について

IGESのCDMデータベース([リンク](#))

マーケット基準手法

電力購入の契約に基づく排出係数を用いる方法。

日本の場合、再エネ購入手法としては、①メニュー別、②再エネ属性証書(グリーン電力証書・J-クレジット(再エネ起源))のみである。正確には調整後排出係数から、再エネ起源以外のJ-クレジット、JCM分を控除した係数が、マーケット基準の係数である。なお、再エネ属性証書を購入・償却する場合、調整後にプラスして利用することが可能である。

メニュー別排出係数 ([リンク](#))

経済産業省・環境省が、GHGプロトコル(CDP・SBTが準拠)やRE100要件と、日本の排出算定方法との違いなどをまとめたガイダンスを、2019年3月に公表しています。(2021年3月改訂)

「[国際的な気候変動イニシアティブへの対応に関するガイダンス](#)」([リンク](#))

スコープ2排出量の算定

マーケット基準手法

表 2-2 マーケット基準手法における排出係数の優先順位

	Emission factors	Indicative examples	Precision	
再エネ証書や 発電源証明付の排出係数	Energy attribute certificates or equivalent instruments (unbundled, bundled with electricity, conveyed in a contract for electricity, or delivered by a utility)	<ul style="list-style-type: none">Renewable Energy Certificates (U.S., Canada, Australia and others)Generator Declarations (U.K.) for fuel mix disclosureGuarantees of Origin (EU)Electricity contracts (e.g. PPAs) that also convey RECs or GOsAny other certificate instruments meeting the Scope 2 Quality Criteria	Higher	正確性: 高い (優先順位: 高い)
契約書で担保された 排出係数	Contracts for electricity, such as power purchase agreements (PPAs)* and contracts from specified sources, where electricity attribute certificates do not exist or are not required for a usage claim	<ul style="list-style-type: none">In the U.S., contracts for electricity from specified nonrenewable sources like coal in regions other than NEPOOL and PJMContracts that convey attributes to the entity consuming the power where certificates do not existContracts for power that are silent on attributes, but where attributes are not otherwise tracked or claimed		
電力供給者が 提示する排出係数	Supplier/utility emission rates, such as standard product offer or a different product (e.g. a renewable energy product or tariff), and that are disclosed (preferably publicly) according to best available information	<ul style="list-style-type: none">Emission rate allocated and disclosed to retail electricity users, representing the entire delivered energy product (not only the supplier's owned assets)Green energy tariffsVoluntary renewable electricity program or product		
Residual mix (残余ミックス)	Residual mix (subnational or national) that uses energy production data and factors out voluntary purchases	<ul style="list-style-type: none">Calculated by EU country under RE-DISS project **		
系統平均の 排出係数	Other grid-average emission factors (subnational or national) – see location-based data	<ul style="list-style-type: none">eGRID total output emission rates (U.S.),* in many regions this approximates a consumption boundary, as eGRID regions are drawn to minimize imports/exportsDelta annual grid average emission factor (UK)IEA national electricity emission factor*	Lower	正確性: 低い (優先順位: 低い)

(出典) スコープ2 ガイダンス Table 6.3 より作成

出典: 経産省・環境省「国際的な気候変動イニシアティブへの対応に関するガイダンス」 ([リンク](#))

マーケット基準手法

表 2-2 マーケット基準手法における排出係数の優先順位

再エネ証書や
発電源証明付の排出係数

契約書で担保された
排出係数

電力供給者が
提示する排出係数

Residual mix
(残余ミックス)

系統平均の
排出係数

Emission factors	Indicative examples	Precision
Energy attribute certificates or equivalent bundled a company	Renewable Energy Certificates (U.S., Canada, Australia and others)	
Contract power and other arrangements where do not usage		
Supplier rates offer renewable and the public information		
Residual mix data and purchase		
Other factors see below		
	IEA national electricity emission factors	

- マーケット基準は、系統平均の排出係数（ロケーション基準で使用するもの）を最下層とする階層構造となっており、地域ごとに入手可能な最善の係数（より上にある係数）を使うことで算定可能です。
- 地域Aでは再エネ証書に裏付けられた排出係数を使用し、地域Bでは系統平均の排出係数を使うといった、ハイブリッド形式も認められております。
- 省エネ活動のみならず、再エネ利用の拡大を通じたGHG排出の削減をするために、まだマーケット基準による算定をされていない企業の方は、ぜひ算定をご検討ください。

(出典) スコープ2 ガイダンス Table 6.3 より作成

出典：経産省・環境省「国際的な気候変動イニシアティブへの対応に関するガイダンス」 [\(リンク\)](#)

スコープ2排出量の算定

マーケット基準手法

【日本での計算方法】

調整後排出係数については、再エネ以外のJ-クレジット、JCMクレジットによる係数が下がった分は抜いた係数を、電力会社にお問い合わせいただき、そちらをご利用ください。

ステップ1：調整後のうち、再エネ以外J-クレジット・JCM分を除いた係数を問い合わせ



ステップ2：報告年の電力に対して償却するグリーン電力証書・再エネJ-クレジット分を集計



ステップ3：問い合わせ結果による調整後係数で電力量×係数を計算

【計算例】

- 低炭素メニュー0.00020t-CO₂/kWhを100kWh購入
- それ以外は残差メニュー0.00050t-CO₂/kWhを500kWh購入
- グリーン電力証書を300kWh償却(排出係数0)

マーケット基準排出量

$$= 100 \times 0.0002 + (500 - 300) \times 0.00050 \text{ t-CO}_2$$

ロケーション基準排出量

$$= (100 + 500) \times 0.000445 \text{ t-CO}_2$$

(全国平均排出量0.000445t-CO₂/kWh)



C6.3 御社のスコープ2全世界総排出量はCO₂換算で何トンでしたか。

Year	Scope 2, location-based	Scope 2, market-based (if applicable)	Comment
Reporting year	Numerical field [enter a range of 0-99,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a range of 0-99,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Text field [maximum 2,400 characters]

Dレベル

- 値記載なし→0/8
- ロケーション基準のみ→1/1
- マーケット基準のみ→**1/8**
- 両方の基準記載→2/2

ロケーション基準は世界のどの地域における活動でも算定可能な値です。
ロケーション基準は必ず算定し、ご回答ください。

Aレベル

- C6.2でロケーション基準の値を提供と回答、ここで記載なし→0/2
- C6.2でマーケット基準の値を提供と回答、ここで記載なし→0/2
- C6.2で両方の値を提供と回答、ここで両方記載なし→0/4

【複数年の排出量を回答する場合】
(C0.2で複数年回答することを設定)

- 報告年から遡って順に回答してください。
- 過去の排出量について、いつのデータのものか、日付（開始、終了）を記載してください。

C6.4 スコープ1とスコープ2報告バウンダリ(境界)内で、開示に含まれない排出源(例えば、特定の温室効果ガス、活動、地理的場所など)はありますか？

- 開示から除外されている排出源がある
⇒ **[Yes]** を選択 ⇒ C6.4a
- 開示から除外されている排出源がない
⇒ **[No]** を選択 ⇒ C6.5へ

C0.5で回答した企業バウンダリ内に通常は含まれるべきであるが、今回の開示に含まれていない排出源を特定してください。

除外の理由として以下のようなものが考えられます。

- 報告年について情報が不完全
- 合併、ダイベストメント等企業構造の変化
- 活動をアウトソースしたり、インソースしたりしていて情報が得られない
- 信頼性の低い情報

C6.4a 報告バウンダリ(境界)内であるが、開示に含まれないスコープ1および2排出量の発生源の詳細を記入します。

※C6.4で[Yes]を選択

①排出源	②この排出源についてスコープ1に関する関連性	③この排出源についてスコープ2ロケーション基準に関する関連性	④この排出源についてスコープ2マーケット基準に関する関連性	⑤除外理由
Text field [maximum 2,400 characters]	Select from: <ul style="list-style-type: none"> No emissions excluded No emissions from this source Emissions are not relevant Emissions are relevant but not yet calculated Emissions are relevant and calculated, but not disclosed Emissions excluded due to recent acquisition Emissions are not evaluated 	Select from: <ul style="list-style-type: none"> No emissions excluded No emissions from this source Emissions are not relevant Emissions are relevant but not yet calculated Emissions are relevant and calculated, but not disclosed Emissions excluded due to a recent acquisition Emissions are not evaluated 	Select from: <ul style="list-style-type: none"> No emissions excluded No emissions from this source Emissions are not relevant Emissions are relevant but not yet calculated Emissions are relevant and calculated, but not disclosed Emissions excluded due to a recent acquisition Emissions are not evaluated 	Text field [maximum 2,400 characters] <ul style="list-style-type: none"> なぜ除外されているのか 関連性がないという場合は、その理由 可能な場合は、除外排出量が総排出量のうちどれぐらいを占めているかの推定 合併があった場合、その時期

Aレベル

【Relevant/関連性がある】

Relevantであるというのは、**社内外のデータ利用者が、意思決定に必要な情報を含んでいる**、ということである。
(GHGプロトコル企業算定報告基準p.8より)

スコープ1, 2ともに、[No emissions excluded]や[No emissions from this source]を選択している場合、C6.4でNoを選択すべきなのではないか、再考してください。

C6.4a 報告バウンダリ(境界)内であるが、開示に含まれないスコープ1および2排出量の発生源の詳細を記入します。

※C6.4で[Yes]を選択

②除外した排出源についてスコープ1に関する関連性

- 排出除外なし/No emissions excluded

Aレベル

- この排出源からの排出はなし/No emissions from this source

- 排出量に関連性がない/ Emissions are not relevant

- 排出量に関連性があるが、まだ計算していない/ Emissions are relevant but not yet calculated

- 本排出源からの排出は関連性があり算定しているが開示していない/ Emissions from this source are relevant and have been calculated, but are not disclosed

- 最近の企業買収によって排出が除外/ Emissions excluded due to a recent acquisition

- 排出を評価していない/ Emissions are not evaluated

この排出源について、スコープ2の除外があり表の第3または4列で回答しているが、スコープ1排出については除外していない場合、この選択肢を選んでください。

この排出源について、スコープ2の除外があり表の第3または4列で回答しているが、スコープ1排出がこの排出源からではない場合、この選択肢を選んでください。

この排出源からのスコープ1を除外しているが、その除外について「関連性がない/not relevant」と特定した場合、この選択肢を選んでください。

この排出源からのスコープ1を除外しており、この排出源からの排出は「関連性がある/relevant」と特定しているが、まだ計算していない場合、この選択肢を選んでください。

本排出源からの排出について、計算し、「関連性がある/relevant」と特定しているが、CDP回答からは除外している場合、この選択肢を選んでください。

CDP回答の提出日から12カ月前以内の企業買収によるスコープ1排出を除外している場合、こちらを選択してください。

この排出源からのスコープ1を除外しているが、関連性については評価していない。

C6.4a 報告バウンダリ(境界)内であるが、開示に含まれないスコープ1および2排出量の発生源の詳細を記入します。

※C6.4で[Yes]を選択

②除外した排出源についてスコープ1に関する関連性

- 排出除外なし/No emissions excluded

Aレベル

- この排出源からの排出はなし/No emissions from this source

- 排出量に関連性がない/ Emissions are not relevant

- 排出量に関連性があるが、まだ計算していない/ Emissions are relevant but not yet calculated

- 本排出源からの排出は関連性があり算定しているが開示していない/ Emissions from this source are relevant and have been calculated, but are not disclosed

- 最近の企業買収によって排出が除外/ Emissions excluded due to a recent acquisition

- 排出を評価していない/ Emissions are not evaluated

この排出源について、スコープ2の除外があり表の第3または4列で回答しているが、スコープ1排出については除外していない場合、この選択肢を選んでください。

この排出源について、スコープ2の除外があり表の第3または4列で回答しているが、スコープ1排出がこの排出源からではない場合、この選択肢を選んでください。

この排出源が関連性がない/ not relevant

この排出源が関連性がある/ relevant
この選択肢を選んでください。

本排出源から排出しているが、本排出源からであると特定してください。

CDP回答の提出日から12カ月前以内の企業買収によるスコープ1排出を除外している場合、こちらを選択してください。

この排出源からのスコープ1を除外しているが、関連性については評価していない。

報告内容に重大な除外がないことがAリストの認定を受ける上での要件の1つとなっております。



C6.5 御社のスコープ3全世界総排出量について、除外項目の開示とともに説明してください。

①スコープ3 カテゴリー	②評価状況	③排出量	④排出量算定 方法	⑤サプライヤーまたはバリューチェーン パートナーから得た データを用いて計算 された排出量の割合	⑥説明してください
Purchased goods and services	Select from: <ul style="list-style-type: none"> Relevant, calculated Relevant, not yet calculated Not relevant, calculated Not relevant, explanation provided Not evaluated 	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Text field [maximum 2,400 characters]	Numerical field [enter a number from 0-100 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Text field [maximum 2,400 characters]
Capital goods					
Fuel-and-energy-related activities (not included in Scope 1 or 2)					
Upstream transportation and distribution					
Waste generated in operations					
Business travel					
Employee commuting					
Upstream leased assets					
Downstream transportation and distribution					
Processing of sold products					
Use of sold products					
End of life treatment of sold products					
Downstream leased assets					
Franchises					
Investments [row hidden for FS sector companies, data point requested in C-FS14.1a]					
Other (upstream)					
Other (downstream)					

15カテゴリー
それぞれについて採点

任意

スコープ3排出量



スコープ1,2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）を指す。

サプライチェーンにおける排出量管理は気候変動対応において欠かせません。

【参考になるサイト】

環境省グリーンバリューチェーンプラットフォーム（[リンク](#)）

Wastebox（[リンク](#)）

Scope3カテゴリ		該当する活動（例）
1	購入した製品・サービス	原材料の調達、パッケージングの外部委託、消耗品の調達
2	資本財	生産設備の増設（複数年にわたり建設・製造されている場合には、建設・製造が終了した最終年に計上）
3	Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	調達している燃料の上流工程（探掘、精製等） 調達している電力の上流工程（発電に使用する燃料の探掘、精製等）
4	輸送、配送（上流）	調達物流、横持物流、出荷物流（自社が荷主）
5	事業から出る廃棄物	廃棄物（有価のものは除く）の自社以外での輸送（※1）、処理
6	出張	従業員の出張
7	雇用者の通勤	従業員の通勤
8	リース資産（上流）	自社が賃借しているリース資産の稼働 （算定・報告・公表制度では、Scope1,2に計上するため、該当なしのケースが大半）
9	輸送、配送（下流）	出荷輸送（自社が荷主の輸送以降）、倉庫での保管、小売店での販売
10	販売した製品の加工	事業者による中間製品の加工
11	販売した製品の使用	使用者による製品の使用
12	販売した製品の廃棄	使用者による製品の廃棄時の輸送（※2）、処理
13	リース資産（下流）	自社が賃貸事業者として所有し、他者に賃貸しているリース資産の稼働
14	フランチャイズ	自社が主宰するフランチャイズの加盟者のScope1,2に該当する活動
15	投資	株式投資、債券投資、プロジェクトファイナンスなどの運用
その他（任意）		従業員や消費者の日常生活

C6.5 御社のスコープ3全世界総排出量について、除外項目の開示とともに説明してください。

15カテゴリー
それぞれについて採点

任意

①スコープ3 カテゴリー	②評価状況	③排出量	④排出量算定 方法	⑤サプライヤーまたはバリューチェーン パートナーから得た データを用いて計算 された排出量の割合	⑥説明してください
Purchased goods and services	<p>以下から選択</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連性あり、算定済み 関連しているが、算定していない 関連性なし、算定済み 関連性なし、理由の説明 関連性を評価していない 	<p>[関連性あり、算定済み]／[関連性はないが、算定済み]の場合、要回答</p>	<p>[関連性あり、算定済み]／[関連性はないが、算定済み]の場合、要回答</p> <p>排出量を計算するのに利用したデータのタイプや出典（活動量データ、排出原単位、GWPの値など）、利用した算定方法、想定、配分手法など</p>	<p>Numerical field [enter a number from 0-100 using a maximum of 2 decimal places and no commas]</p>	<p>Text field [maximum 2,400 characters]</p>
Capital goods					
Fuel-and-energy-related activities (not included in Scope 1 or 2)					
Upstream transportation and distribution					
Waste generated in operations					
Business travel					
Employee commuting					
Upstream leased assets					
Downstream transportation and distribution					
Processing of sold products					
Use of sold products					
End of life treatment of sold products					
Downstream leased assets					
Franchises					
Investments [row hidden for FS sector companies, data point requested in C-FS14.1a]					
Other (upstream)					
Other (downstream)					



C6.5 御社のスコープ3全世界総排出量について、除外項目の開示とともに説明してください。

⑤サプライヤーまたはバリューチェーンパートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合					
①スコープ3 カテゴリー	②評価状況	③排出量	④排出量算定 方法	⑥説明してください	
Purchased goods and services	<div>以下から選択</div> <ul style="list-style-type: none">• 関連性あり、算定済み• 関連しているが、算定していない• 関連性なし、算定済み• 関連性なし、理由の説明• 関連性を評価していない	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Text field [maximum 2,400 characters]	<div>Numerical field [enter a number from 0-100 using a maximum of 2 decimal places and no commas]</div> <div>[関連性がなく、説明を記入]の場合、要回答</div> <div>※関連性がないことが伝わる、妥当な理由をご回答ください。</div>	
Capital goods					
Fuel-and-energy-related activities (not included in Scope 1 or 2)					
Upstream transportation and distribution					
Waste generated in operations					
Business travel					
Employee commuting					
Upstream leased assets					
Downstream transportation and distribution					
Processing of sold products					
Use of sold products					
End of life treatment of sold products					
Downstream leased assets					
Franchises					
Investments [row hidden for FS sector companies, data point requested in C-FS14.1a]					
Other (upstream)					
Other (downstream)					

15カテゴリーそれぞれについて採点

任意

スコープ3カテゴリーの関連性の考え方



以下の基準を基に、それぞれのスコープ3カテゴリーが自社に関連するか否かをご判断ください。

基準	説明
規模	自社の総スコープ3 排出量の内、大きい割合を占めると予想される排出源であるか
影響力	自社が排出量の削減に際し、影響力を行使できそうな排出源であるか
リスク	自社にリスクを与えうる排出源であるか（財務、規制、サプライチェーン、製品・顧客、訴訟、風評リスクなどの気候変動関連リスク）
ステークホルダー	自社にとって重要なステークホルダー（顧客、サプライヤー、投資家、市民社会 等）が重要視している排出源であるか
外部委託	これまで自社内で行っていた業務を外部委託したことで発生した排出源であるか。または、同業他社では一般的に社内で行っている活動であるが、自社は外部委託していることで発生している排出源であるか
セクターガイダンス	自社が属するセクターにおいて、重要だと特定されている排出源であるか

GHGプロトコル “Corporate Value Chain (Scope 3) Accounting and Reporting Standard”を基に作成。CDP和訳 ([リンク](#))

C6.7 生物起源炭素からの二酸化炭素排出はありますか。

- 生物起源炭素からの二酸化炭素排出はある
⇒ **[Yes]** を選択 ⇒ C6.7a
- 生物起源炭素からの二酸化炭素排出はない
⇒ **[No]** を選択 ⇒ C6.10へ

【生物起源炭素】

バイオマス（地上と地下の両方）、死んだ有機物、土壌有機物、収穫物に含まれる炭素を指します。生物起源炭素からの二酸化炭素の排出は、バイオマスの燃焼中や（たとえば、バイオガスなどのバイオ燃料の利用）、特定の土地利用管理慣行から発生します。

C6.1のスコープ1排出量には含めず、本質問で回答してください。

C6.7a 御社に関連する生物起源炭素からのCO₂排出量を回答してください。



CO ₂ emissions from biogenic carbon (metric tons CO ₂)	Comment
Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Text field [maximum 2,400 characters]

Aレベル

バイオマスの燃焼時に発生する亜酸化窒素(N₂O)やメタン(CH₄)はここには含めないでください。（スコープ1として報告してください。）

C6.10 報告年における、売上高あたりのグローバルでのスコープ1, 2 総排出量を回答してください。加えて、御社の操業について、何らかの適当な原単位があれば、回答してください。

※③はC0.4で回答した通貨単位でご回答ください。日本円での回答の場合、百万円や億円等の単位ではなく円単位での回答となります。

①原単位数値	②分子数値（スコープ1, 2総量）	③分母単位	④分母数値	⑤使用したスコープ2の値
Numerical field [enter a number from 0- 999,999,999,999 using a maximum of 10 decimal places and no commas]	C6.1の数値 + C6.3の数値	"unit total revenue（総売上額）" が選択されている。	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Select from: <ul style="list-style-type: none"> Location-based Market-based

Aレベル要件

Mレベル要件

Aレベル要件

⑥前年からの変化率	⑦変化の増減	⑧変化の理由
Numerical field [enter a number from 0-999 using a maximum of 2 decimal places] 0より大きい数値	Select from: <ul style="list-style-type: none"> Increased Decreased No change Decreasedを選択	これがC4.3bの関連するスコープで報告されている排出削減活動によるものであると説明、または排出削減活動を明確に説明 (Mレベル)

Aレベル要件

※排出原単位の変化が**COVID-19(新型コロナウイルス感染症)パンデミック**による貴社の事業生産高(製品またはサービス)の減少または増加に起因する場合、⑧[変化の理由]欄で、どのように生産高が影響を受けたかを示してください。

[Add Row]

C6.10 報告年における、売上高あたりのグローバルでのスコープ1,
2 総排出量を回答してください。加えて、御社の操業について、何ら
かの適当な原単位があれば、回答してください。

評価ルート(A)
一般的な企業

⑥前年からの変化率

0より大きい数値



⑦変化の増減

Decreasedを選択

⑥前年からの変化率

0



⑦変化の増減

No changeを選択



C6.1及びC6.3

報告年及び前年の値が
0

評価ルート(B)
前年から既に排
出量ゼロを達成
している企業

C6 スコアリング基準 (1/4)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
6.1	C5で情報開示スコアが満点 数値を記入 - 1点 回答していない場合、 8点満点中0点		1 or 8		0	0		0	0		0	0
6.2	i) [ロケーション基準]欄でいずれかを選択 - 1点 ii) [マーケット基準]欄でいずれかを選択 - 1点		2	[マーケット基準]欄で[電力供給事業者の排出係数または残余ミックスの排出係数が利用可能な場所での操業はあるが、マーケット基準の値を報告できない]以外を選択 - 1点		1		0	0		0	0
6.3	<ul style="list-style-type: none"> 値記載なし - 8点満点中0点 ロケーション基準のみ - 1点満点中1点 マーケット基準のみ - 8点満点中1点 両方の基準記載 - 2点満点中2点 		1 or 2 or 8	<ul style="list-style-type: none"> C6.2でロケーション基準の値を提供と回答、ここで記載なし - 2点満点中0点 (記載あり: 0点中0点) C6.2でマーケット基準の値を提供と回答、ここで記載なし - 2点満点中0点 (記載あり: 0点中0点) C6.2で両方の値を提供と回答、ここで両方記載なし - 4点満点中0点 		0 or 2 or 4		0	0		0	0

C6 スコアリング基準 (2/4)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
6.4	いずれかの選択肢を選択		1		0	0		0	0		0	0
6.4a ※6.4 でYes	全ての欄に回答－1点		1	i) [スコープ1の関連性]欄で、[排出量に関連性があるが、まだ計算していない],[本排出源からの排出は関連性があり算定しているが開示していない],[排出を評価していない]以外を選択－1点 ii) [スコープ2の関連性]欄で、[排出量に関連性があるが、まだ計算していない],[本排出源からの排出は関連性があり算定しているが開示していない],[排出を評価していない]以外を選択－1点		2	説明欄の記述が、関連性で選択した内容と一致している－1点		1		0	0

C6 スコアリング基準 (3/4)

情報開示 (Dレベル)		得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
6.5	<p>Other以外の各行に対して、</p> <p>A) 以下の場合-1点</p> <ul style="list-style-type: none"> • [関連性あり、算定済み]で、[排出量]と[排出量算定方法]の両方を回答 (A1) • [関連性はないが、算定済み]で、[排出量]と[排出量算定方法]の両方を回答 (A1) • [関連性がなく、説明を記入]で、[説明してください]に回答 (A2) <p>B) 以下の場合-0.5点</p> <ul style="list-style-type: none"> • [関連しているが、まだ算定していない] (B1) • [関連性を評価していない] (B2) <p>C) その他 - 0点</p>		15	<p>Other以外の各行に対して、</p> <p>Dレベルでの行の採点 (A1) - 0.5点</p> <p>Dレベルでの行の採点 (A2) [説明してください]に記入された回答文が該当のスコープ3カテゴリー関連しており、且つ、[評価の状況]欄に記入した情報と矛盾しない- 0.5点</p> <p>Dレベルでの行の採点 (B1) - 0.25点</p> <p>Dレベルでの行の採点 (B2) または(C) - 0点</p>		7.5		0	0	<p>Other以外のすべての行でDレベルでの採点が (A1)または (A2)</p> <p>[関連性なし、理由を説明]の行に関して、[説明してください]に記入された回答文が該当のスコープ3カテゴリー関連しており、且つ、[評価の状況]欄に記入した情報と矛盾しない</p>		1

C6 スコアリング基準 (4/4)



	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
6.7	いずれかの選択肢を選択		1		0	0		0	0		0	0
6.7a ※6.7 でYes	排出量数値を回答 – 1点		1	排出量数値を回答 – 1点		1		0	0		0	0
6.10	開示した行とセルの数に比例して得点		8	<u>[原単位数値]と[使用したスコープ2の値]を回答</u> i)すべての欄に回答 – 1点 または、 [前年からの変化率]と[変化の増減]を回答-0.5点 ii) A) [変化の増減]で[減少]を選択し、[前年からの変化率]で0より大きい値を回答-1点 B) [変化の増減]で[変化なし]を選択し、[前年からの変化率]で0を回答し、C6.1とC6.3の[報告年]と[過年度1年目]の行で0を回答。		2	<u>認識スコアが満点</u> [指標の分母]欄に[売上額合計]が記載され、且つ、[変化の理由]欄で、C4.3bの関連スコープで報告した通りに排出量削減イニシアチブによるものであることを説明しているか、排出量削減イニシアチブについて明確に述べている場合 – 1点		1		0	0

C6 セクター別質問に関する注意

対象セクター	質問	質問内容・スコアリング
AC, FB, PF	C6.6, 6.6a, b, 6.8, 6.8a, 6.9, 6.9a	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
CG	C6.6, 6.6a	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
CN, RE	C6.6, 6.6a-c	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
FS	C6.5	<ul style="list-style-type: none"> 一部の質問が対象外となり、スコアリングの配点が異なります。
CE	C6.11	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です。
OG	C6.12, 6.13	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です。
ST	C6.14	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
TS	C6.15	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です

詳細は、回答ガイダンスやスコアリング基準セクター別質問に記載のセクター別質問の項目をご覧ください。



CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



一般的なお問合せ : japan@cdp.net

サプライチェーンに関するお問合せ : supplychain.japan@cdp.net

レポーターサービスに関するお問合せ : reporterservices.japan@cdp.net